

みずべ い 水辺の生きもの

とちぎけんりつはくぶつかん
栃木県立博物館 ワークシート

てんじしつ けんがくび ねん がつ にち なまえ
展示室 2 見学日 年 月 日 名前 ()

とちぎけん てんねんきねんぶつ してい さかな
栃木県には天然記念物に指定されている魚『ミヤコタナゴ』がすんで
います。

1 水槽のミヤコタナゴをよく見て、
右の図で欠けている“ひれ”をかき
こみましょう。

2 () に当てはまることばを
入れましょう。



ミヤコタナゴ



マツカサガイ

ミヤコタナゴは、() を
マツカサガイに産みつけます。

また、マツカサガイは子ども(幼生)の
ころ、() のヒレに
くっついて成長します。

このため、現在少なくなってしまった
ミヤコタナゴが生きていくためには、
ミヤコタナゴ以外のいろいろな生きも
のが一緒に暮らしていける水辺が必要
なのです。

3 水の中に暮らす大きな甲虫の仲間にはゲンゴロウとガムシがいます。
ゲンゴロウとガムシはよく似ていますが、ゲンゴロウは肉食、ガムシは
主に草食で、暮らし方はずいぶんちがっています。ゲンゴロウとガムシ
をよく見て、体のつくりのちがう部分を見つけてかき出してみましょう。

えでもことばでせつめいでもOK

4 田んぼは稲を作るための場所ですが、いろいろな動物の生活の場所にもなっています。

田んぼで暮らす動物たちは、たがいに食べたり食べられたりしています。

展示してあるシマヘビが、今まさに食べているのは何でしょう。



シマヘビ

()

5 カブトエビもホウネンエビも“エビ”という名前がついていますが、アメリカザリガニやサワガニなどのエビ・カニのなかまというよりは、ミジンコに近いなかまです。

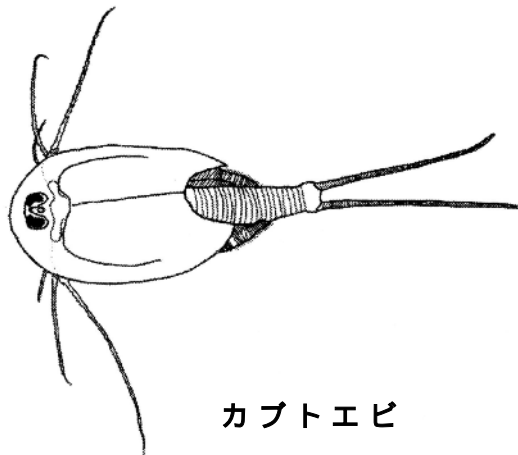
それでは、エビ・カニとはどこがちがうか、拡大模型とアメリカザリガニ標本の体のつくりをくらべてみて、答えを下の3つの中から選びましょう。

からだや足が節で分かれていない。

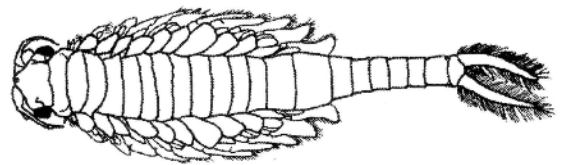
同じような形の足がたくさんあり、えらのようになっている。

目がない。

()



カブトエビ



ホウネンエビ

県南の田んぼでは、6月中旬～下旬にカブトエビとホウネンエビの姿が見られることがあります。